

群馬県のCSF発生に伴う国の疫学調査について

令和2年10月7日に群馬県高崎市のCSF発生事例を受けて、国の疫学調査チームの検討結果が公表されました。

(農水省 HP: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/attach/pdf/index-460.pdf>)

CSFはワクチン接種のみで発生を完全に防ぐことはできませんので、一層警戒を強めるとともに、飼養衛生管理の遵守の徹底をお願いします。

◇疫学調査チームの検討結果概要

1 ウイルスの侵入時期

7月末から8月中旬頃

2 農場への侵入要因

近隣の感染野生イノシシ由来のウイルスが、車両や野生動物を介して侵入した可能性あり
(離乳豚の飼育箱のおよそ半分に屋根がなく、防鳥ネットの設置なし)

3 豚舎への侵入要因

人や野生動物を介して侵入した可能性あり
(飼育箱に入る際の長靴交換や踏み込み消毒の実施なし)

今回の検討結果から以下の点が指摘されています。

離乳豚飼養エリアは高リスク

母豚からの移行抗体が低下したワクチン未接種の子豚が存在し、適切な飼養衛生管理がされていないと感染リスクが高くなります

発生予防対策のポイント

- ・屋外からウイルスが侵入しないように、防鳥ネットを設置しましょう
- ・豚舎専用の長靴・手袋への交換や消毒を徹底しましょう

豚飼養者の皆様は、飼養衛生管理基準の再チェックと徹底をお願いします。

(特に以下の事項を重点的に実施してください。)

- ・飼養豚の異状の有無の確認、異常豚発生時の早期通報の徹底
- ・防護柵や防鳥ネットの設置及びネズミ等の衛生動物の駆除
- ・防護柵周囲の除草により野生イノシシの隠れ場所をなくす
- ・農場出入口での人・物・車両等の消毒の徹底

CSFワクチンの接種を継続するとともに、気を緩めることなく、ウイルスの侵入防止対策の徹底をお願いします。

飼養豚に異状を認めたら、速やかに管轄の家畜保健衛生所に御連絡ください。

県央家畜保健衛生所

宇都宮市平出工業団地6-8

TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 携帯:090-7205-0895 (夜間・休日)

県南家畜保健衛生所

栃木市惣社町1439-20

TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 携帯:090-7205-1402 (夜間・休日)

県北家畜保健衛生所

那須塩原市千本松800-3

TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 携帯:090-7205-1826 (夜間・休日)